

4. 南関東（地域別調査機関：（財）日本経済研究所）

（ - : 回答が存在しない、 : 主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	良く なっている	-	-	-
	やや良く なっている	百貨店（広報担当）	お客様の様子	・高額時計の販売会では、結果が前年比110%となるなど、高額品に動きが出てきている。また、消費の回復が一番遅いと言われている紳士服関連の商況も、前年比プラスに転じるなど、徐々にではあるが、商況が上向き現象が現れている。
		百貨店（営業企画担当）	お客様の様子	・気温が上がらず、水着、帽子、日傘など夏物シーズン商品は7掛けと大幅減だが、反動で秋物正価商品が売れており、消費をしたいという指向が出てきている。
		スーパー（店長）	販売量の動き	・冷夏に対し、気温変化への対応が進んでいる売場と遅れてしまった売場とでは、数字が大きく変わってきている。たとえば、生鮮食品については、気温変化への対応が遅れてしまったため、前年を大幅に下回っている。逆に、婦人衣料、紳士衣料、子供衣料に関しては、上手く対応したので、前年比2けたの伸びを示している。ゆえに、販売の立場では、やり方次第で今後も伸びていく。
		スーパー（統括）	販売量の動き	・冷夏で海のレジャー等に出かけられなかった人が、近場で過ごしたと思われ、併設している映画館の来客数が増加し、売上増につながっている。エアコン等の家電の売上は、厳しい。
		衣料品専門店（経営者）	来客数の動き	・SARSとテロ問題は、夏休み期間中の海外流出を抑制する結果となり、国内商品を活性化させる。また、冷夏やお盆の台風は、国内旅行を抑制させ、近隣の小売を活性化させる。小売店としては、追い風として客数増を生む結果となっている。
		家電量販店（店員）	単価の動き	・DVDレコーダーやプラズマテレビ、液晶テレビ等ビジュアル関係では、単価の高い物が売れてきている。
		乗用車販売店（総務担当）	販売量の動き	・新車の受注状況は、目標の73.7%となる見込みだが、前年同月比では26日現在で117.3%と、全国レベルの112.6%を上回っている。
		乗用車販売店（販売担当）	販売量の動き	・トラックの販売量は前年同月の3倍となっている。ただし、これは排ガス規制による販売量の増加であって、継続的なものとは思わない。
		都市型ホテル（スタッフ）	販売量の動き	・レストランのメニューを絞り込んだことに加え、宣伝効果も出て、来客数、売上ともに良い。夏に向け、いろいろな手を打ったことが効いている。
		旅行代理店（従業員）	販売量の動き	・海外旅行へ出かける客が、前年並みに戻ってきている。
		通信会社（企画担当）	販売量の動き	・新製品、高速ADSL、光サービスの受注は順調で、加入獲得は、計画どおりとなっている。
		その他レジャー施設【アミューズメント】（職員）	単価の動き	・アミューズメントスペース（ゲームセンター）については、今月は前年比100%をクリアするのは確実である。これは、景品を取得するゲーム機が好評で、取ったときの征服感、爽快感等を味わうため、繰り返し利用され、単価が上昇したことによるものと思われる。冷夏で海に行く機会が減り、客が近場のレジャーで金を使ったことも一因である。
	その他レジャー施設（経営企画担当）	お客様の様子	・多額の設備投資を伴う新施設を開業したことにより、動員は飛躍的に増加している。新施設での購買意欲は総じて高く、若いOLが、自分へのご褒美消費を行っている状況、あるいは、小さな子供のいる家族が、行列を作って人気イベントに参加する状況を目の当たりにすることができる。他方で、従来の施設においては動員自体が弱く、ライフサイクルの短期化も懸念される。	
	変わらない	商店街（代表者）	販売量の動き	・浴衣の販売量は、6、7月と良かったが、8月に入り1週間以上続けて雨が降ったので、前月までのプラスが消されて、前年並みとなっている。

一般小売店〔米穀〕（経営者）	単価の動き	・たばこの値上げがあったが、現在は金額ベースでは元に戻っている。若干増えているかもしれないくらいである。
一般小売店〔茶〕（営業担当）	販売量の動き	・夏物商品、特に麦茶の場合、大袋の動きはなく、小袋に動きがある。したがって、単価は低い。 ・お茶に関しては、寒かったためか、袋詰、進物等の販売は増加しているが、単価は下落し、昨年同様の売上となっている。
百貨店（企画担当）	それ以外	・婦人関連のファッションが悪く、今まで百貨店の得意先だった30代、50代といったところが不振になっている。また、天候の影響もあり、夏物商材の消化が進んでいない。
百貨店（企画担当）	販売量の動き	・特選雑貨、宝飾品等が好調に推移しているものの、天候の影響を受けている商品群も多数ある。良い、悪いと一概に言えない状況である。
百貨店（営業企画担当）	来客数の動き	・前年より催物の数を増やしたため、売上は前年を確保できたが、来客数は天候の不順もあり、マイナスに終わった。
スーパー（店長）	単価の動き	・8月は冷夏の影響により、夏物雑貨、衣料品の落ち込みが激しい。特に、最大需要期である旧盆が雨だったため、来客数、単価の落ち込みが大きい。鍋物等のホット商品の動向が良かったため、そちらにシフトしたが、カバーしきれていない。
スーパー（店長）	販売量の動き	・1人当たりの買上点数の減少が、今年になってずっと続いている。
スーパー（総務担当）	販売量の動き	・来客数は、前年比100であるが、販売量、単価ともに上がらず、売上は前年比98となっている。
コンビニ（経営者）	来客数の動き	・大型店の営業時間が延び、また、同業者が増えている中、なんとか7～8月の売上は前年並みに回復している。今後はほぼ同水準でいくものと思う。
コンビニ（店長）	販売量の動き	・冷夏に伴う飲料の売上低下があった。しかし、その中で、緑茶飲料は下支えしてくれた。
家電量販店（店員）	お客様の様子	・この1か月は、買おうというわけではなく、見て回っているだけの客が多い。購買意欲があまりないようである。
家電量販店（営業部長）	販売量の動き	・パソコンの夏モデルは好調であったが、冷夏でエアコン、冷蔵庫は大打撃を受けている。
乗用車販売店（販売担当）	来客数の動き	・イベント開催日の土日には、多少来場者はあるが、平日などは明らかにほろりと来るものの、ほとんど皆無という状態である。
乗用車販売店（店長）	販売量の動き	・車の販売台数が、3か月前と比べて少し厳しい状況ではあるが、変わらない。
その他専門店〔眼鏡〕（店員）	販売量の動き	・冷夏、天候不順により、来客数が落ち込んでいる。7月に続き、サングラス等の夏商材がクリアランスに入っても動かず、昨年の70%台となっている。
その他専門店〔燃料〕（売場主任）	競争相手の様子	・冷夏でクーラーの使用が少なく、企業も夏休みなので、ガソリンの使用量が減少している。価格競争で売値を上げられないので、各店舗とも苦戦中である。
一般レストラン（店長）	来客数の動き	・ビルのリニューアルがあり、再開発で活性化という動きもあるので、来客数は伸びる傾向にあるが、今後どのくらい伸びるかは分からないので、変わらない。
スナック（経営者）	来客数の動き	・他のレジャーに客を取られていることもあるが、天候の不順が最大の要因である。
スナック（経営者）	単価の動き	・来客数は減少していないが、客がつまみを注文しないため、客単価が5～7%程度低下している。
旅行代理店（従業員）	お客様の様子	・個人旅行の動きは目立ったものの、団体旅行等の大きな動きが目立たない。
タクシー運転手	お客様の様子	・8月は毎年最も暇な時期であるが、今年の8月上旬は雨が多く、動きは多少良かった。後半は暑さが戻り、客が外出しなないため、動きはあまり良くない。
タクシー運転手	来客数の動き	・お盆休みの半ばごろには、雨のためどこにも行楽に行けなかった人が地元に残ったことが影響して、仕事が忙しかった。全体的には8月は低下している。
タクシー運転手	お客様の様子	・8月11日より任意で、個人タクシー8,700台が深夜早朝3割増から2割増へ値下げしている。反響は今一つで、期待していたほど客足が増えていない。
通信会社（営業担当）	販売量の動き	・ケーブルテレビの放送サービス、インターネットともに販売量は前月並みで推移している。

	通信会社（営業担当）	販売量の動き	・加入者は多少減少気味であるが、解約者が減少しているため、全体的には同水準で推移している。
	パチンコ店（経営者）	来客数の動き	・当店も含め、競争相手の来客数もさほど増加していない。
	その他サービス 〔語学学校〕 （総責任者）	来客数の動き	・来客数の動き以外に、販売量、単価、他社の動き等を見ると、相変わらず、景気の足並みは横ばいであると判断できる。
	住宅販売会社 （従業員）	販売量の動き	・受注件数、金額ともに横ばいである。
やや悪くなっている	商店街（代表者）	お客様の様子	・近所の大型店が閉店時間を23時まで延長したことにより、地元商店街への来客数が減少し、買上高もマイナス傾向にある。
	一般小売店 〔茶〕（経営者）	お客様の様子	・帰省の土産が売れなくなってきた。
	百貨店（営業担当）	販売量の動き	・冷夏の影響で、衣料品のみならず、食品も大きく影響して苦戦した。
	コンビニ（経営者）	来客数の動き	・今年の天候のためか、お盆の時期（8月10～17日）にかけての来客数が、前年と比較して2割以上減少している。
	コンビニ（店長）	販売量の動き	・冷夏のため季節商品が低迷しており、中華まん等の販売を始めてみたが、少ししか売れていない。
	衣料品専門店 （経営者）	来客数の動き	・8月中旬の豪雨、夏冷えで、来客数が大幅に減っている。客は来店しても天候不順から購入する商品に迷いがあり、買上客数が前年同月比で3割減少となっている。
	家電量販店（店長）	それ以外	・遅れてきた暑さのために、エアコンの売上台数が今月はある程度上がっている。全体としては、情報家電よりも生活家電関係の方に客の意識がいつている。なくてはならないものが壊れてしまったための買換えが中心で、新たな購入は少ないようである。
	家電量販店（店長）	単価の動き	・冷夏のため、白物家電、冷蔵庫、エアコンの動きが悪い。それに伴い、客単価も下落している。
	その他専門店 〔キャラクターグッズ〕（従業員）	来客数の動き	・新商品投入量を増やしているが、客数、売上とも前年を下回っている。
	高級レストラン （支配人）	来客数の動き	・当地域の企業の社員は、少しでも安い価格のレストランへ行く傾向が見られる。
	一般レストラン （経営者）	来客数の動き	・冷夏の影響でビールが出なかった。そば店も客が来なかった。
	旅行代理店（従業員）	販売量の動き	・冷夏のために、夏の駆け込み客が少なく、販売数が伸びない。特に、客単価の高いお盆休みは、雨のために厳しい状態である。
	タクシー（団体役員）	来客数の動き	・来客数が減っている。
	ゴルフ場（支配人）	単価の動き	・夏場の料金設定を安くしている割には、来場者数が少ない。
	その他サービス 〔学習塾〕（経営者）	来客数の動き	・生徒数の減少が止まらない。
	設計事務所（所長）	競争相手の様子	・都心のマンションは動きが良いが、郊外では土地が値下がりし、動きも悪い。消費者は質が良くて安い物件を探しているため、建設業界全体にとっては厳しい状況である。
住宅販売会社 （従業員）	販売量の動き	・8月は盆休みがあり、例年キャンペーンを行うが、今年は天気が悪く、販売量も比例して落ち込んでしまった。	
悪くなっている	スーパー（統括）	販売量の動き	・8月も7月同様冷夏の影響で、季節ものの商品の売上が悪く、前年と比べると極めて不振である。3か月前と比べて、相当悪い状況が続いている。
	衣料品専門店 （経営者）	販売量の動き	・8月は季節柄夏物の最終処分セールを行い、あわせて秋、冬物の受注展を行っている。高額品の受注はあるが、全般的には動きが悪く、予定の売上をなかなかクリアできず、苦戦している。
	衣料品専門店 （経営者）	販売量の動き	・8月は、水着、サンドレス等、夏物衣料の動きが良くない。単価も下落している。

		一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・レストランは、8月は一般的に悪いのだが、今年の場合は冷夏も重なって、冷たい飲み物や料理などがほとんど出ず、来客数がかなり減少した。	
		観光名所（職員）	来客数の動き	・前年同月と比較し、来客数は20%減少している。	
		住宅販売会社（経営者）	来客数の動き	・広告を出しても来客数は非常に少なく、来場しても様子を見ているだけで、話が進まないケースが多くみられる。	
企業 動向 関連	良くなっている	-	-	-	
	やや良くなっている	出版・印刷・同 関連産業（営業 担当）	受注量や販売量 の動き	・会社設立のケースが一つの目安であるが、今月は8件であった。7月は10件で、2件減ってはいるものの、例年8月に比べると多い方である。	
		輸送用機械器具 製造業（経営 者）	取引先の様子	・昨年までは周りに全く仕事がなかったが、今は忙しい時と暇な時が分かれてきており、少し景気が上向いてきたと長年の経験から判断している。自分たちだけではなく、出入り業者の話も総合しての判断である。	
		建設業（経理担 当）	受注量や販売量 の動き	・受注単価は競争が激しいため、希望価格より大分低くなっているが、受注工事の量は、以前より増加している。	
		その他サービ ス業【ディス プレイ】（経営 者）	受注量や販売量 の動き	・完全受注とまではいかないにしても、問い合わせが確実に増えてきている。	
	変わらない		出版・印刷・同 関連産業（経営 者）	競争相手の様子	・見積りは増加しているが、金額が厳しく、単価が低いので、採算がとれないものが多い。
			一般機械器具製 造業（経営者）	受注量や販売量 の動き	・価格は変わらないが、注文の数は多少増加している。
			電気機械器具製 造業（経営者）	受注価格や販売 価格の動き	・全国の客先からの引き合いは多少増加しているが、実際には予算不足で契約に至らないことが非常に多い。したがって、景気の動向はまだまだ底をついたままの状態である。
			通信業（営業企 画担当）	受注量や販売量 の動き	・通信機器を始め、買換え等の受注が伸び悩んでいる。
			金融業（審査担 当）	取引先の様子	・各企業ともに経費削減の努力はしているが、受注の回復が本格化せず、依然として厳しい状態である。
			金融業（渉外・ 預金担当）	取引先の様子	・自動車が強調であっても、地元機械メーカーは動いていない。
			その他サービ ス業【廃棄物処 理】（経営者）	取引先の様子	・スポット的な注文が多い。継続的な注文は少ない。
			その他サービ ス業【情報サー ビス】（従業員）	受注量や販売量 の動き	・全体的には業務量は増えてきているが、8月は小、中規模のIT関連設備投資について、提案件数、受注件数ともに横ばい傾向であった。小規模で、利益の薄い案件が主体となっていることに変化はない。利益確保は依然として難しい。状況は変わっていない。
	やや悪く なっている		食料品製造業 （経営者）	取引先の様子	・冷夏の影響で、贈答品などを使わなくなった取引先などが随分多くなった。
			電気機械器具製 造業（経営者）	受注量や販売量 の動き	・原発の故障により、この夏電力が不足するというPRが行き届いたため、最近電力を消費する高級機種が全く売れなくなった。
		金融業（得意先 担当）	競争相手の様子	・住宅ローンの返済が滞る客が多く、自己破産する客も増加している。	
		不動産業（経営 者）	競争相手の様子	・来客数が非常に減っている。高額の家賃の物件を探す客が減った。空き部屋も非常に増えている。まだまだ上向きとは言えない。	
悪く なっている		繊維工業（経営 者）	受注価格や販売 価格の動き	・7～8月にかけて涼しかったため、売上が芳しくないという店舗が多い。寒さのため、問屋も在庫が減らず、一方で、中国産の安いもので対抗しているようである。	
		その他製造業 【靴】（経営 者）	取引先の様子	・ハンドバック業界、その取引先は非常に苦しんでいる。競争価格、販売量等、あらゆる面で苦しんでいる。	
雇用 関連	良くなっている	-	-	-	
	やや良くなっている	人材派遣会社 （社員）	求人数の動き	・先付けの長期派遣の受注が入るようになってきた。パソコン修理受付コールセンター業務での増員がみられる。	

	人材派遣会社 (支店長)	求人数の動き	・ 8月の中旬あたりスタートの派遣スタッフ依頼数が、今年度で一番多くなっている。ただし、長期安定の案件よりも、短期的な仕事が多いため、楽観視はできない。
	求人情報誌製作 会社(編集担 当)	周辺企業の様子	・ 5月頃はイラク戦争、SARSなど、国際世情から影響を受けた企業の業務縮小または延期などにより、新たな求人は見送られた様子である。その後、慎重な対応がみられたが、最近になって少しずつ動きが出てきている。
	職業安定所(所 長)	求職者数の動き	・ 事業主都合離職者が、前年同期比で30%を超える大幅な減少となるなど、全体では減少傾向にある中、新規求職者、パートについては、前年同期比2けた台の増加となっている。
	職業安定所(職 員)	求人数の動き	・ 過去3か月の求人取扱状況を前年同期と比べると、全産業で5%台の増加となっている。特に、雇用吸収力の高い製造業で、3割弱の大幅増となっている。その中でも、電気、電子関連企業が正社員雇用を大幅に増やしている。
変わらない	人材派遣会社 (社員)	求人数の動き	・ 求人の全体数は変わらないが、元気のある企業が1社で何人も採用する案件が出てきている。
	学校[専門学 校](教務担 当)	求人数の動き	・ ここにきて、求人数が極端に減っている。
	学校[短期大 学](総務担 当)	雇用形態の様子	・ 依然として、求人票の減少は継続している。求人票の中では、契約社員または社会保険は完備されているものの時給制となる募集が増加している。
やや悪く なっている	民間職業紹介機 関(経営者)	雇用形態の様子	・ 有期雇用や紹介予定派遣での要請が増える傾向にある。同時に、年棒が下がる傾向に歯止めがかからない。
悪く なっている	新聞社[求人広 告](担当者)	求人数の動き	・ 盆明けの求人募集は例年かなりの数の注文がくるが、今年はどこも募集をしていない。業務請負、派遣など、期間を採用側が好き勝手にできるような募集状態である。